



おひさま便り

病児・病後児保育室
わたっ子保育園

いよいよ夏本番の暑さとなり、日差しが厳しい季節になりました。室内でも熱中症を起こしやすいので、細めな水分補給と、室内温度の調整にも気を付けたいですね。また、香川県では食中毒警報も発令されています。こちらにも注意しましょう。

7月の利用者数は27名（観音寺市16名、三豊市4名、その他7名）でした。

熱中症

乳幼児さんは熱中症にかかりやすく、短時間で容態が急変することがあります。しかしながら、適切な予防策を知り、配慮していけば、必ず防げるものです。万が一の時のための対処法を知っておくことも大切ですね。

原因

高温多湿の環境下で起こるさまざまな症状のことをいいます。

小さい子どもは体温調節機能が未発達です。その上、自分で水を飲む事も、衣服を脱いで調節する事もできません。そのため、体温を下げようと大量の汗が一気に出て脱水を起こしたり、体内の電解質のバランスが崩れ、けいれんや嘔吐などを起こします。

主な症状

- * 高温多湿の環境にいて、顔が真っ赤になっている。
- * 唇が乾いている。指で口の中を軽く触ると、乾いている。
- * 普段より、明らかに大量の汗をかいている。
- * 水が飲めない。飲みたがらない。
- * 下痢や嘔吐をしている。
- * 呼びかけても、反応が鈍い。
- * まったく反応がない。意識がなく、ぐったりしている。

注意事項

- * 必ず帽子をかぶる
- * 水分補給は20分ごとを目安に補給する
- * 室温チェックをこまめに行う
- * 散歩は涼しい時間に行く
- * ベビーカーの中は、地面の照り返しの熱で蒸れやすいです。長時間の移動や立ち話などは注意しましょう。



今月の制作

おりがみを使って魚や波を作り、海を表現しています。魚の表情はそれぞれ違って、目を丸くしていたりウインクをしていたり、リボンを付けた魚もいます (^-^)

保育室の中にはかわいらしいひまわりの花も咲いています。夏らしく、パツと明るくなりました。



お知らせ

平成26年8月15日(金)は、小児科外来が午後より休診の為、病児・病後児保育室はお休みになります。ご了承下さい。

病児・病後児保育について

詳しくは

わたっ子保育園

検索

わたっ子保育園で検索！！